

山形県こどもの居場所づくりサポートセンター

ネットワーク通信

令和8年度第1号
(通算127号)

発信日 令和8年4月9日
発行者 山形県社会福祉協議会
山形県こどもの居場所づくりサポートセンター



山形県こどもの居場所づくりサポートセンター 令和8年度もよろしくお祈いします！

令和8年度も山形県こどもの居場所づくりサポートセンターでは、こどもの居場所づくり実施団体等の相談・支援、民間企業等と連携した食材提供のコーディネートのほか、助成金や食材提供などの各種情報を「ネットワーク通信」を通して定期的に配信いたします。

令和8年度の地域福祉部地域共生推進系の体制は以下のとおりとなりますので、よろしくお祈いいたします。

■令和8年度	山形県社会福祉協議会	地域福祉部地域共生推進系の体制
地域福祉部	地域福祉部長	今田 真樹
地域福祉部	副部長	渡邊 陽
地域福祉部	地域共生推進主査（兼）地域共生推進係長	三瓶 淳子
地域福祉部	地域共生推進係 主任主事	武田 拓也
	主事	佐藤 友佳（こどもの居場所総括コーディネーター）
	主事	中田 柚葉
	主事	秋葉 元美
	主事	佐藤 大将
	主事	渡部 遼希（こどもの居場所づくり担当）

山形県しあわせ子育て応援部こども家庭・母子保健課より

こども食堂への県産米提供のご案内

(4/17までに必ず回答ください)

この度山形県しあわせ子育て応援部こども家庭・母子保健課では、県内のこども食堂に

対して経済的な支援を行い、こども食堂の運営の安定を図ることを目的に、県産米を提供することにいたしました。

今回は県産米 20 kgを県内すべてのこども食堂にお配りしたいと考えております。つきましては、県産米の受け取りを「希望する」「希望しない」の回答を含め、受け取りのための情報等を下記フォームより本会へお知らせください。委託業者からの発送時期は5～6月を予定しておりますが、後日改めて配送日時の希望調査をメールにてご連絡いたします。

お手数をおかけして申し訳ありませんが、希望しない場合もその理由を入力のうえ、必ず返信くださいますようお願いいたします。

【県山形県しあわせ子育て応援部こども家庭・母子保健課 県産米提供】

県産米各 20 kg

配送：5月～6月末

【回答】

回答締切：4月17日（金）17：00

<https://4734fbdc.form.kintoneapp.com/public/ibashoshokuzai>

山形県総合社会福祉基金（紅花ふれあい基金）のご案内

山形県総合社会福祉基金（紅花ふれあい基金）から助成金の案内がありました。本助成金は「こども食堂・地域食堂」の運営に御活用いただけます。詳細については別添チラシまたは下記またはホームページをご覧ください。

<募集期間> 4月20日（月）～5月20日（水）

<紅花ふれあい基金HP> <https://www.yamagataken-benibana-kikin.org/>

- ・こども食堂を開催したい
 - ・こども食堂へ食材や寄付金などの支援したい
 - ・こどもの居場所づくりについて相談したい
- などのご相談があればお気軽に山形県こどもの居場所づくりサポートセンターまでお問合せください！

山形県社会福祉協議会
山形県こどもの居場所づくりサポートセンター
TEL: 023-622-5805 FAX: 023-626-1623
E-mail: kodomosc@ymgt-shakyo.or.jp
URL: <http://www.ymgt-shakyo.or.jp>

「子ども食堂・地域食堂」

の運営に 紅花ふれあい基金（助成金） を活用してみませんか

紅花ふれあい基金【(公財)山形県総合社会福祉基金】は、県民の方々(各種団体等)が行う福祉活動に助成を行っております。

助成金の区分は下記のとおりです。「子ども食堂・地域食堂」を実施する皆様、ぜひ本基金の活用をご検討ください。

7年度助成事業募集期間

令和7年4月21日(月)～5月20日(火)

○【助成区分／施設・設備等整備】▶

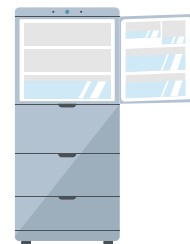
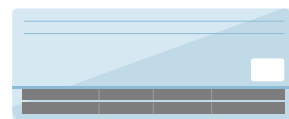
機材・備品(調理器具、家電、パソコン等)の購入費

○【助成区分／福祉施設・団体従事者研修】▶

スタッフのスキルアップのための講習会開催経費
県外で開催される研修会やセミナーへの参加費・旅費

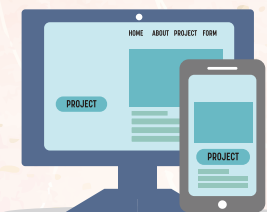
○【助成区分／福祉ボランティア活動支援】▶

「子ども食堂・地域食堂」の新規立ち上げにかかる経費
(機材・備品・消耗品の購入費、PR用チラシ作成費等)



☆詳しくはパンフレットまたはホームページをご覧ください。

ホームページアドレス(URL) <https://www.yamagataken-benibana-kikin.org>



ご相談はこちらまで

TEL023-664-0700 FAX023-622-5866

メールアドレス benibanakikin@keh.biglobe.ne.jp

〒990-0021 山形市小白川町二丁目3番31号 社会福祉法人山形県社会福祉協議会内
〈公益財団法人 山形県総合社会福祉基金(通称:紅花ふれあい基金)事務局〉

※運営に要する経費・人件費などの経常的な活動費への助成は行いませんのでご注意ください。

紅花ふれあい基金〔(公財)山形県総合社会福祉基金〕 令和7年度助成募集のお知らせ

令和7年度の助成募集を令和7年4月21日～5月20日の期間で行います。
エアコンの取り替えや厨房の改修等の「設備整備費」、パソコンや空気清浄器等の
「備品購入費用」として、ぜひ本基金をご活用ください。

紅花ふれあい基金はこんな福祉活動に助成します!

- 冷蔵庫、掃除機、電子レンジ、食器洗い乾燥機 等の
家電製品の購入費
- パソコン、デジタルカメラ 等の**デジタル機器**
(利用者処遇に係るものに限る)の購入費
- エアコン、空気清浄機 等の**環境整備器具**の購入費
- ポータブル非常用発電機、ヘルメット、懐中電灯 等の
災害に備えるための**防災用品**の購入費
- 厨房改修、温水器修理 等の建物や設備の**改修・修繕費**
- スノーダンプ、スコップ、除雪機 等の**除雪機材**の購入費



活用事例紹介

備品(電子レンジ)購入(助成区分:施設・設備等整備)

団体名:ぼらんたす(居場所づくり)鶴岡市

ぼらんたすは、空き家をお借りして「こども食堂」や「フードパントリー」など、地域に根差した活動をしています。コロナウイルス感染症の流行も落ち着き、徐々にこども食堂への参加者も増えて来た中、古くなったオープンで大人数の食事を調理するのに苦心しておりました。

今回の紅花ふれあい基金の助成を受けて立派なオープンを導入することができ、こども達が大好きなハンバーグや焼きおにぎり、ローストチキン等のメニューを一度に20～30人分調理することが出来るようになりました。出来立ての温かいごちそうで子どもも大人も一緒に食卓を囲んでいます。

今後も子どもたちが笑顔になるようなメニューを考え、活用させていただきます。ありがとうございました。



新規立ち上げに係る備品(物置・エアコン・カーテン)購入

(助成区分:福祉ボランティア活動支援)

団体名:居場所 あうら(地域食堂・居場所づくり)東根市

居場所あうらは、親子及び世代間の交流・文化活動等を目的とした団体で、一般の民家をお借りして令和5年より週2～3日運営しています。子どもたちが集いやすいようにと考えていましたが、冬の寒さは体を刺し、夏の暑さはいくら風通しを良くしても汗だくになり、体力を奪われるような感じでした。また畑仕事や外遊びの道具などは外に出せばなしで、危ないとも感じていました。

この度紅花ふれあい基金を知り、いろいろと教えていただきながら申請させていただき、エアコン3台とカーテン、外の物置も揃えることができました。居場所は大変過ごしやすくなり、中が見えにくいカーテンも入ったことで、相対対応なども気兼ねなくできるようになりました。物置は業者様と話し合って設置することで、隣家との目隠しにもなりとても重宝しています。本当にありがとうございました。



なお、助成対象となる事業には要件があります。また、購入する備品によっては助成上限額が設定されているものがあります。詳しくはパンフレットまたはホームページをご覧ください。

ホームページアドレス:<https://www.yamagataken-benibana-kikin.org>
メールアドレス:benibanakikin@keh.biglobe.ne.jp TEL:023-664-0700

助成事業申込団体等の皆様へ

令和8年度「紅花ふれあい基金」助成事業

～ 選考方法が変わりますのでご注意ください ～

本基金は、山形県や各市町村の出捐金と県民の皆様からの寄付金などの貴重な財源を運用し、制度の狭間にある福祉課題の解決に向けた活動に取り組む団体等に対して助成を行っています。

近年、地域共生社会の実現に向けた取組みなど、福祉ニーズの高まりにより本基金の助成事業への申請件数、申請金額が増加しています。

このため、限られた財源の中で、地域にバランスよく継続した助成支援を行うために審査・選考の見直しを行いました。

つきましては、令和8年度の助成事業から、助成予算額の範囲内で助成を行うことを基本とし、査定を実施したうえで助成交付対象者及び助成交付額を決定いたします。

選考にあたっては、緊急性、先駆性、波及性の高い事業や近年（過去4年間）助成交付実績がないものを優先します。

また、審査により助成交付額の減額又は不交付となる場合がありますのでご留意ください。

審査結果についてのご質問は、お受けできかねますのでご了承ください。

*選考にあたっては、次の点を重視・配慮します。

- ① 近年（過去4年間）助成実績がない案件
- ② 緊急性が高い案件
- ③ 福祉課題の解決に向けた先駆性のある案件
- ④ 福祉の充実・向上に波及効果が期待できる案件
- ⑤ 広く助成金を活用いただく観点から、近年に助成交付実績があり緊急性が高くない案件は優先度が低くなります。